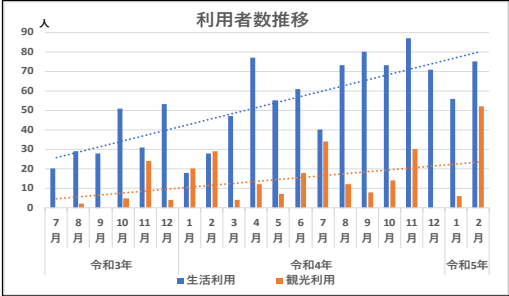


# 大江まちづくり住民協議会・有限会社慶和、福知山市

## 【取組の概要】

- ◆ 人口減少の本格化、運転者不足の深刻化等に伴い公共交通サービスの維持・確保が困難となる中、地域組織「大江まちづくり住民協議会」が実施主体となった移送サービス「鬼タク」を令和3年7月にスタート。
- ◆ 地元タクシー会社「有限会社慶和（ふく福タクシー）」が運営に協力する「事業者協力型自家用有償旅客運送」の制度を京都府下で初めて活用しており、安全・安心で持続可能な運送サービスの提供に努めている。
- ◆ 住民の生活利用に加え、観光客を対象としたサービスも提供。利用者も着実に増加しており、地域の活性化に寄与。



## 1. 多様な主体の実質的参画

- ◆ 同地区を走る福知山市営バスについては、年々利用者が減少し、路線によっては1運行あたりの平均乗車人数が1.0人を下回る状況が発生。乗客にとっても、乗りたい時間に乗りたいバスがなく、更に公共交通の利用を敬遠するといった悪循環が発生。
- ◆ こうした状況を踏まえ、令和2年7月から、福知山市と地元自治会、地域団体、福祉団体、観光協会など多様な主体が一丸となり協議を重ね、**令和3年7月に交通空白地有償運送制度を活用した「鬼タク」のサービスを開始。**
- ◆ 「鬼タク」実施に当たっては、大江山の「鬼」伝説（酒吞童子）をコンセプトとして取り入れ、**住民利用のみならず観光客の移動手段としても活用可能に。**
- ◆ 「鬼タク」運営にあたっては、**地元タクシー会社が運行管理・整備管理・受付・マッチング（配車）・点呼を受託し、地域住民と交通事業者が一体となって安全・安心なサービスを提供。**

## 2. 創意工夫

- ◆ 区域運行により日常生活における住民の移動手段を確保するとともに、土日祝には観光客を対象とした定路線運行を実施。住民向けと観光利用で運行曜日、運行形態、料金等を分けることで、収支採算性にも配慮しつつ、**持続的な運行を可能に。**
  - ・ 生活利用(区域運行)：主に地域住民の自家用車を使用し、大江地域内を運行。
  - ・ 観光利用(定路線)：大江駅と観光拠点を結ぶ2路線を運行。地元で詳しいドライバーが観光案内も行うため、観光客にも好評。
- ◆ 観光需要の増加を見込み、電気自動車に、ウルトラ怪獣の生みの親として知られる成田亨氏が描いた**鬼の絵をラッピングした特別仕様車を制作。**
- ◆ **地元観光企業と連携**し、京都丹後鉄道 大江駅構内に、鬼タクや鉄道の利用者のための**待合スペースや多目的スペース（Wi-Fi完備）を設置。**



## 3. 自立性・継続性

- ◆ タクシー会社のノウハウを活かせる**「事業者協力型自家用有償旅客運送」の制度を活用し**、持続可能なサービスを実現。
- ◆ 点呼に際しては、遠隔ながら対面に近い厳格な点呼が可能となる**「テレ点呼システム」を導入し**、安全・安心な運行のため先駆的な取り組みを行っている。
- ◆ 住民・観光客・タクシー事業者・自治体それぞれに以下のメリットがあり、まさに**「四方良し」の取り組み**となっている。

住民	観光客	タクシー事業者	自治体
地域住民が、気軽にいつでも使える移動手段を確保。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地までの移動手段を提供し観光客の移動ニーズに対応。</li> <li>・地元で詳しいドライバーの観光案内が受けられ、地域をより深く知る機会に。</li> </ul>	大江地域へは配車まで20～30分を要していたところ、鬼タクの導入により、電話予約時に鬼タクの案内も可能になり、人手不足への対策としても効果。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼タク導入により市営バスの赤字負担の圧縮を実現。</li> <li>・「鬼伝説」と結びつけた大江の観光面での魅力発信が可能に。</li> </ul>